

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限【当初、2029年11月15日まで】(2019年11月15日設定)
運用方針	米国IPOニュースステージ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に投資を行います。 マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主要運用対象	ベビー・ファンド 米国IPOニュースステージ・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド 米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビー・ファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド 株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

運用報告書（全体版）

米国IPOニュースステージ・
ファンド<為替ヘッジあり>
(資産成長型)

第6期（決算日：2025年11月17日）



信託期間を従来の2029年11月15日から無期限へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額					株組入比率	株式比率	純資産額
		税分	込配	み金	期騰	中落			
2期(2021年11月15日)	円 24,441	円		%			% 95.4	% —	百万円 18,560
3期(2022年11月15日)	10,236		0		△58.1		94.4	—	6,184
4期(2023年11月15日)	10,374		0		1.3		95.6	—	5,574
5期(2024年11月15日)	15,220		10		46.8		95.9	—	6,349
6期(2025年11月17日)	17,876		10		17.5		97.0	—	6,277

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 組 入 比	式 率	株 先 物 比	式 率
(期 首) 2024年11月15日	円 15,220	% —	% 95.9			% —
11月末	16,367	7.5	93.4			—
12月末	15,849	4.1	94.3			—
2025年1月末	17,357	14.0	94.3			—
2月末	15,656	2.9	93.8			—
3月末	13,875	△ 8.8	92.6			—
4月末	15,200	△ 0.1	94.6			—
5月末	17,397	14.3	94.7			—
6月末	18,838	23.8	94.6			—
7月末	19,586	28.7	95.1			—
8月末	19,369	27.3	94.6			—
9月末	20,084	32.0	93.8			—
10月末	19,949	31.1	95.9			—
(期 末) 2025年11月17日	17,886	17.5	97.0			—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第6期：2024年11月16日～2025年11月17日

〉当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第6期首	15,220円
第6期末	17,876円
既払分配金	10円
騰落率	17.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ17.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄（ROBINHOOD MARKETS INC - AやPALANTIR TECHNOLOGIES INC-Aなど）の値上がりが、基準価額の上昇要因となりました。

第6期：2024年11月16日～2025年11月17日

〉投資環境について

► 米国株式市況

米国株式市況は、上昇しました。

期間の初めから2025年1月にかけては、米大統領選でレッドスウィープ（共和党が大統領・上下院で勝利）となり、減税や規制緩和への期待、堅調な経済指標を背景に株価は上昇しました。1月以降は、市場がトランプ政権による関税政策に関する発言や各国との交渉に関する報道に反応し、変動の激しい展開となりました。

その後通商交渉の進展や、経済指標が労働市場の減速を示唆したことで利下げへの期待が高まり、株価は上昇しました。9月後半には米連邦公開市場委員会（FOMC）で実際に利下げが決定されたことで、景気が下支えされるとの見方が広がったことを受け株価はさらに上昇し、期間の初めに比べ上昇して期間を終えました。

〉当該投資信託のポートフォリオについて

► 米国 I P O ニューステージ・ファンド

＜為替ヘッジあり＞（資産成長型）

米国 I P O ニューステージ・マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

としました。

金融政策や景気動向には不透明感がありました。しかし、当ファンドの投資対象企業は、マクロ経済の影響を比較的受けにくいと判断しました。これらの企業は独自の技術を活かし、中長期的な持続的成長が可能と見込まれます。そのため、個別企業の成長性に着目した投資を継続しました。

企業への取材を基にした業績見通しや株価水準を勘案し、銘柄の入れ替えを行いました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

► 米国 I P O ニューステージ・マザーファンド

新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を中心を選別投資を行いました。

組入銘柄数は、43～49銘柄程度での推移

収益拡大余地が限定期と判断した「DATADOG INC - CLASS A」や「DRAFTKINGS INC-CL A」などの売却を行う一方で、次世代原発の小型モジュール炉（SMR）を開発する「OKLO

INC」や、医療・手術機器メーカーであり外科用ロボットを提供する「PROCEPT BIOROBOTICS CORP」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

》当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

》分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期 2024年11月16日～2025年11月17日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.056%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,755

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

► 米国 I P O ニューステージ・ファンド

<為替ヘッジあり> (資産成長型)

米国 I P O ニューステージ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

► 米国 I P O ニューステージ・マザーファンド

一連の関税引き上げが景気動向にあたえる影響や、金融政策における今後の利下げのペースなどについて不透明感が完全に払拭されるには至っておりません。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考

えます。加えて、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、米国株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいません。好悪の両材料を織り込むかたちで市況は推移し、現行水準からの上値は重い一方で、下値もまた限定的と予想しています。

当ファンドは、株式公開 (I P O) から概ね 5 年以内の中型以上の米国株式への投資を基本とし、新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。ソフトウェアや小売、バイオの分野において優れた企業が多いため特に注目し、銘柄選定に努める方針です。金融政策や景気動向についての不透明感は完全には払拭されておりませんが、投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断します。

2024年11月16日～2025年11月17日

〉 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	314	1.795	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
(投信会社)	(155)	(0.884)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(155)	(0.884)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	26	0.148	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(26)	(0.148)	
(c)有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(d)その他費用	3	0.015	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	343	1.959	

期中の平均基準価額は、17,490円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

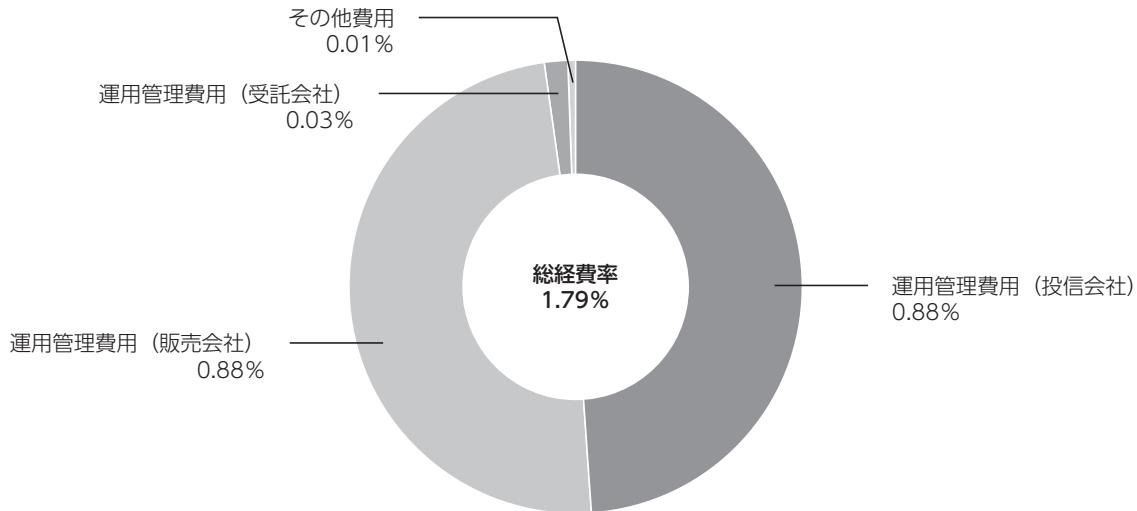
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.79%です。**



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月16日～2025年11月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
米国 I P O ニューステージ・マザーファンド	千口 883,825	千円 2,664,750	千口 1,337,640	千円 4,253,810

○株式売買比率

(2024年11月16日～2025年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	米国 I P O ニューステージ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	41,126,532千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,426,532千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.30

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月16日～2025年11月17日)

利害関係人との取引状況

<米国 I P O ニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり>（資産成長型）>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 138,970	百万円 98,308	% 70.7	百万円 138,343	百万円 100,260	% 72.5

<米国 I P O ニューステージ・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,872	百万円 449	% 24.0	百万円 6,939	百万円 1,308	% 18.8

平均保有割合 19.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年11月17日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
米国 I P O ニューステージ・マザーファンド	千口 2,283,936	千口 1,830,121	千円 6,253,341

○投資信託財産の構成

(2025年11月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
米国 I P O ニューステージ・マザーファンド	千円 6,253,341	% 98.3
コール・ローン等、その他	107,810	1.7
投資信託財産総額	6,361,151	100.0

(注) 米国 I P O ニューステージ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (33,534,201千円) の投資信託財産総額 (34,669,800千円) に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカ ドル=154.70円			
-------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月17日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレ・ローン等	12,451,844,866
米国IPOニューステージ・マザーファンド(評価額)	95,621,885
未収入金	6,253,341,319
未収利息	6,102,880,450
未収利息	1,212
(B) 負債	6,174,358,391
未払金	6,095,610,110
未払収益分配金	3,511,654
未払解約金	12,535,188
未払信託報酬	62,582,115
その他未払費用	119,324
(C) 純資産総額(A-B)	6,277,486,475
元本	3,511,654,705
次期繰越損益金	2,765,831,770
(D) 受益権総口数	3,511,654,705口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,876円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,171,538,050円
 期中追加設定元本額 1,155,747,690円
 期中一部解約元本額 1,815,631,035円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7876円です。

②分配金の計算過程

項目	2024年11月16日～ 2025年11月17日
費用控除後の配当等収益額	8,368,585円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	2,289,940,107円
分配準備積立金額	779,767,468円
当ファンドの分配対象収益額	3,078,076,160円
1万口当たり収益分配対象額	8,765円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	3,511,654円

○損益の状況 (2024年11月16日～2025年11月17日)

項目	当期
(A) 配当等収益	516,338
受取利息	516,338
(B) 有価証券売買損益	846,063,816
売買益	2,635,980,694
売買損	△1,789,916,878
(C) 信託報酬等	△ 117,660,990
(D) 当期損益金(A+B+C)	728,919,164
(E) 前期繰越損益金	△ 376,918,392
(F) 追加信託差損益金	2,417,342,652
(配当等相当額)	(2,289,698,992)
(売買損益相当額)	(127,643,660)
(G) 計(D+E+F)	2,769,343,424
(H) 収益分配金	△ 3,511,654
次期繰越損益金(G+H)	2,765,831,770
追加信託差損益金	2,417,342,652
(配当等相当額)	(2,289,940,107)
(売買損益相当額)	(127,402,545)
分配準備積立金	784,624,399
繰越損益金	△ 436,135,281

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

①投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

②新NISA（成長投資枠）の要件対応のため、信託期間を延長（無期限化）し、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2025年8月15日)

米国 I P O ニューステージ・マザーファンド

《第12期》決算日2025年11月17日

[計算期間：2025年5月16日～2025年11月17日]

「米国 I P O ニューステージ・マザーファンド」は、11月17日に第12期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国の株式に投資を行います。株式公開（I P O）から概ね5年以内の中型以上の株式（上場予定を含みます。以下同じ。）への投資を基本とします。投資銘柄の継続保有に加え、市場動向等により、それ以外の株式へ投資を行うことがあります。なお、当ファンドにおける中型以上の株式とは、株式時価総額が30億米ドル以上の株式をいいます。株式への投資にあたっては、新技術やビジネスモデル等に着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰落	中率			
8期(2023年11月15日)	円 17,030	% 26.2		% 96.5	% —	百万円 28,533
9期(2024年5月15日)	20,734	21.7		94.8	—	30,590
10期(2024年11月15日)	27,926	34.7		95.5	—	32,246
11期(2025年5月15日)	30,709	10.0		95.8	—	32,847
12期(2025年11月17日)	34,169	11.3		97.3	—	33,687

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株組 入 比	式 率	株先 物 比	式 率
(期 首) 2025年 5月 15日	円 30,709	% —		% 95.8		% —
5月末	30,165	△ 1.8		95.7		—
6月末	33,049	7.6		95.3		—
7月末	35,618	16.0		95.1		—
8月末	34,787	13.3		95.4		—
9月末	36,745	19.7		94.7		—
10月末	37,920	23.5		95.2		—
(期 末) 2025年11月 17日	34,169		11.3		97.3	

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (ROBINHOOD MARKETS INC - A や SNOWFLAKE INCなど) の値上がりや、米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

- ・米国株式市況は、上昇しました。
- ・期間の初めから2025年7月にかけては、トランプ政権による関税政策を巡り、各国との交渉が進展したことが好感されました。その後、労働市場の減速を示唆する経済指標が発表され、利下げへの期待が高まりました。さらに9月後半には連邦公開市場委員会 (FOMC) で実際に利下げが決定されたことで、景気が下支えされるとの見方が広がりました。こうした流れを受けて株価は上昇し、期間の初めに比べ上昇して期間を終えました。

◎為替市況

- ・期間の初めに比べ、米ドル高・円安となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を中心に選別投資を行いました。
- ・組入銘柄数は、43～49銘柄程度での推移としました。
- ・金融政策や景気動向には不透明感がありました。しかし、当ファンドの投資対象企業は、マクロ経済の影響を比較的受けにくくと判断しました。これらの企業は独自の技術を活かし、中長期的な持続的成長が可能と見込まれます。そのため、個別企業の成長性に着目した投資を継続しました。
- ・企業への取材を基にした業績見通しや株価水準を勘案し、銘柄の入れ替えを行いました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・収益拡大余地が限定的と判断した「DRAFTKINGS INC-CL A」や「JFROG LTD」などの売却を行つ一方で、次世代原発の小型モジュール炉(SMR)を開発する「OKLO INC」や、データストレージデバイスやソリューションの開発・製造・提供を手がける「SANDISK CORP」などのより成長性が高いと判断した銘柄を新規に組み入れました。

○今後の運用方針

- ・一連の関税引き上げが景気動向にあたえる影響や、金融政策における今後の利下げのペースなどについて不透明感が完全に払拭されるには至っておりません。その一方で、インフレは鎮静化の方向にあり、利下げのペースについては不透明感が残るもの、少なくとも金融政策が利下げ方向へと転換したことは確かだと考えます。加えて、景気と企業業績は比較的堅調に推移しているなど、株式市況を取り巻く好環境は大きく崩れてはいません。好悪の両材料を織り込むかたちで市況は推移し、現行水準からの上値は重い一方で、下値もまた限定的と予想しています。
- ・当ファンドは、株式公開(IPO)から概ね5年以内の中型以上の米国株式への投資を基本とし、新技術やビジネスモデルなどに着目し、企業収益の成長性が見込まれる銘柄を選定します。ソフトウェアや小売、バイオの分野において優れた企業が多いため特に注目し、銘柄選定に努める方針です。金融政策や景気動向についての不透明感は完全には払拭されておりませんが、投資対象銘柄の中長期的な成長余地は大きいと判断します。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年5月16日～2025年11月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 29 (29)	% 0.083 (0.083)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.002 (0.002) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	30	0.085	
期中の平均基準価額は、34,579円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年5月16日～2025年11月17日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 11,077	千アメリカドル 75,106	百株 11,438	千アメリカドル 89,859

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2025年5月16日～2025年11月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	24,505,053千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,699,495千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年5月16日～2025年11月17日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
				百万円	%		
為替直物取引	739	—	—	3,344	—	1,162	34.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年11月17日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末) 株 数	当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ZSCALER INC	253	—	—	—	ソフトウェア・サービス
UBER TECHNOLOGIES INC	22	—	—	—	運輸
ALLOGENE THERAPEUTICS INC	1,389	1,389	170	26,430	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	109	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	279	279	1,949	301,611	金融サービス
VERTIV HOLDINGS CO-A	471	258	4,411	682,385	資本財
SNOWFLAKE INC	684	626	16,089	2,489,038	ソフトウェア・サービス
JFROG LTD	150	—	—	—	ソフトウェア・サービス
UNITY SOFTWARE INC	146	—	—	—	ソフトウェア・サービス
PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	1,180	399	6,942	1,074,081	ソフトウェア・サービス
DOORDASH INC - A	518	473	9,789	1,514,390	消費者サービス
AFFIRM HOLDINGS INC	1,726	1,316	9,279	1,435,479	金融サービス
REVOLUTION MEDICINES INC	310	310	2,100	324,908	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケア
ALLEGRO MICROSYSTEMS INC	147	147	363	56,192	半導体・半導体製造装置
ROBLOX CORP -CLASS A	740	774	7,916	1,224,678	メディア・娯楽
MONDAY.COM LTD	271	271	4,350	673,043	ソフトウェア・サービス
CONFLUENT INC-CLASS A	174	174	405	62,718	ソフトウェア・サービス
DUOLINGO	189	21	388	60,123	消費者サービス
SENTINELONE INC -CLASS A	1,478	243	408	63,137	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	299	—	—	—	金融サービス
APPOVIN CORP-CLASS A	225	85	4,740	733,347	ソフトウェア・サービス
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	128	337	9,576	1,481,437	金融サービス
ROBINHOOD MARKETS INC - A	2,736	1,171	14,344	2,219,132	金融サービス
SOFI TECHNOLOGIES INC	3,869	3,388	9,425	1,458,111	金融サービス
CONSTELLATION ENERGY	355	355	12,017	1,859,101	公益事業
DIGITALOCEAN HOLDINGS INC	128	128	586	90,770	ソフトウェア・サービス
DRAFTKINGS INC-CL A	835	—	—	—	消費者サービス
AURORA INNOVATION INC	2,151	2,151	888	137,429	ソフトウェア・サービス
PROCEPT BIOROBOTICS CORP	273	452	1,341	207,605	ヘルスケア機器・サービス
GITLAB INC-CL A	310	790	3,502	541,770	ソフトウェア・サービス
TOAST INC-CLASS A	853	853	3,062	473,733	金融サービス
SAMSARA INC-CL A	1,686	1,686	6,374	986,176	ソフトウェア・サービス
MOBILEYE GLOBAL INC-A	478	478	588	91,102	自動車・自動車部品
NEXTPOWER INC-CL A	175	175	1,640	253,804	資本財
ON HOLDING AG-CLASS A	1,147	1,147	4,863	752,349	耐久消費財・アパレル
GLOBAL-E ONLINE LTD	43	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
DOUBLEVERIFY HOLDINGS INC	197	—	—	—	メディア・娯楽
VAXCYTE INC	343	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフケア
CREDO TECHNOLOGY GROUP HOLDING	460	460	6,693	1,035,549	半導体・半導体製造装置
DUTCH BROS INC-CLASS A	—	284	1,525	235,973	消費者サービス
MAPLEBEAR INC	1,733	1,733	7,113	1,100,530	生活必需品流通・小売り
INFORMATICA INC - CLASS A	194	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SOUNDHOUND AI INC-A	—	1,119	1,361	210,674	ソフトウェア・サービス
CAVA GROUP INC	719	1,035	4,887	756,060	消費者サービス
REDDIT INC-CL A	412	213	4,117	636,977	メディア・娯楽
ASTERA LABS INC	405	405	5,845	904,340	半導体・半導体製造装置

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
RUBRIK INC-A	1,246	980	7,011	1,084,740	ソフトウェア・サービス	
TEMPUS AI INC	539	539	3,691	571,008	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
OKLO INC	—	451	4,400	680,742	公益事業	
IREN LTD	—	246	1,140	176,466	ソフトウェア・サービス	
RIGETTI COMPUTING INC	2,372	844	2,150	332,684	半導体・半導体製造装置	
SAILPOINT INC	—	2,022	4,029	623,360	ソフトウェア・サービス	
SANDISK CORP	—	199	5,057	782,439	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ETORO GROUP LTD-A	—	1,023	4,143	640,945	金融サービス	
ROCKET LAB CORP	—	561	2,554	395,226	資本財	
COREWEAVE INC-CL A	—	134	1,039	160,832	ソフトウェア・サービス	
CIRCLE INTERNET GROUP INC	—	385	3,152	487,732	ソフトウェア・サービス	
FIREFLY AEROSPACE INC	—	1,249	2,866	443,440	資本財	
BULLISH	—	428	1,646	254,782	金融サービス	
合計	株数	金額	34,548	34,187	211,949	
	銘柄	数 <比率>	47	48	32,788,601 <97.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各國別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2025年11月17日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	32,788,601	94.6
コール・ローン等、その他	1,881,199	5.4
投資信託財産総額	34,669,800	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(33,534,201千円)の投資信託財産総額(34,669,800千円)に対する比率は96.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=154.70円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月17日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	34,669,800,855
コール・ローン等	1,727,706,540
株式(評価額)	32,788,601,839
未収入金	153,478,072
未収利息	14,404
(B) 負債	982,000,000
未払解約金	982,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	33,687,800,855
元本	9,859,037,544
次期繰越損益金	23,828,763,311
(D) 受益権総口数	9,859,037,544口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,169円

<注記事項>

①期首元本額	10,696,375,612円
期中追加設定元本額	1,314,809,410円
期中一部解約元本額	2,152,147,478円
また、1口当たり純資産額は、期末3,4169円です。	

②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

米国 I P O ニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	5,985,424,155円
米国 I P O ニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	1,830,121,256円
米国 I P O ニューステージ・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	1,461,895,190円
米国 I P O ニューステージ・ファンド<為替ヘッジあり> (年2回決算型)	581,596,943円
合計	9,859,037,544円

○損益の状況 (2025年5月16日～2025年11月17日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	26,730,678
受取配当金	4,180,349
受取利息	22,410,889
その他収益金	139,440
(B) 有価証券売買損益	3,572,138,613
売買益	9,713,797,141
売買損	△ 6,141,658,528
(C) 保管費用等	△ 843,600
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,598,025,691
(E) 前期繰越損益金	22,151,339,552
(F) 追加信託差損益金	3,228,530,590
(G) 解約差損益金	△ 5,149,132,522
(H) 計(D+E+F+G)	23,828,763,311
次期繰越損益金(H)	23,828,763,311

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした仮額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約仮額を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

新NISA(成長投資枠)の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2025年8月15日)